

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月1日

上場会社名 横河電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6841

URL <http://www.yokogawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奈良 寿

問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 中谷 博彦

TEL (0422)52-6845

四半期報告書提出予定日 2022年11月2日

配当支払開始予定日 2022年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	205,918	11.7	13,575	△4.2	15,908	5.4	9,272	1.8
2022年3月期第2四半期	184,419	5.8	14,167	△7.7	15,096	△7.2	9,112	△6.9

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期33,163百万円（154.7％） 2022年3月期第2四半期13,022百万円（7.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	34.74	—
2022年3月期第2四半期	34.14	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	583,744	368,622	61.7
2022年3月期	555,822	340,356	60.0

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 360,315百万円 2022年3月期 333,587百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2023年3月期	—	17.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	427,500	9.6	42,500	38.5	43,500	21.7	29,000	36.3	108.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

当社の売上高及び営業利益は、日本の制御事業を中心に第2四半期及び第4四半期に集中する傾向があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	268,624,510株	2022年3月期	268,624,510株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,694,703株	2022年3月期	1,694,095株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	266,930,104株	2022年3月期2Q	266,931,587株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は2022年11月1日（火）に決算説明会を電話会議にて開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、同日速やかに当社ウェブサイトへ掲載予定です。

[添付資料]

添付資料の目次

(ページ)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
<参考資料>2023年3月期 第2四半期連結決算情報 .....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)において、当社グループは、中期経営計画“Accelerate Growth 2023”に基づき、「IA2IA/Smart manufacturingの実行と存在価値の変革」、「業種対応力の強化と非業種依存のビジネス拡大」、「収益性の確保と健全な成長」、「社内オペレーション最適化とマインドセットの変革」の4つの基本戦略を中心に、成長に向けて社会共通課題の解決を軸とした事業構造の確立に向け取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、主に為替の変動影響などにより、売上高は前年同期比で214億円増加しました。一方、営業利益は、粗利率の悪化、販管費の増加等により、前年同期比で5億円の減少となりました。経常利益は前年同期比で8億円の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で1億円の増加となりました。

業績の概況は以下のとおりです。

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	差異	増減率
売上高	1,844億19百万円	2,059億18百万円	214億98百万円	11.7%
営業利益	141億67百万円	135億75百万円	△5億92百万円	△4.2%
経常利益	150億96百万円	159億8百万円	8億12百万円	5.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	91億12百万円	92億72百万円	1億59百万円	1.8%
(参考)1米ドル平均レート	109.93円	135.30円	25.37円	-

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、航空機用計器事業の譲渡に伴い、第1四半期連結累計期間より、従来「航機その他事業」としていた報告セグメントの名称を「新事業他」に変更しています。

<制御事業>

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	差異	増減率
売上高	1,715億76百万円	1,930億81百万円	215億4百万円	12.5%
営業利益	138億40百万円	122億34百万円	△16億5百万円	△11.6%

制御事業は、売上高は、主に為替の変動影響などにより、前年同期比で215億円増加しました。一方、営業利益は、粗利率の悪化、販管費の増加等により、前年同期比で16億円の減少となりました。

<測定器事業>

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	差異	増減率
売上高	101億00百万円	110億59百万円	9億58百万円	9.5%
営業利益	16億50百万円	15億96百万円	△54百万円	△3.3%

測定器事業は、売上高は前年同期比で9億円増加したものの、営業利益は前年同期比で5千万円の減少となりました。

<新事業他>

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	差異	増減率
売上高	27億41百万円	17億77百万円	△9億64百万円	△35.2%
営業利益	△13億23百万円	△2億55百万円	10億67百万円	-

新事業他は、航空機用計器事業の譲渡に伴い、売上高は前年同期比で9億円減少、営業損失は前年同期比で10億円縮小しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産や投資有価証券が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ279億円増加し5,837億円となりました。

また、負債合計は、契約負債やその他固定負債が増加した一方、支払手形及び買掛金や未払金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億円減少し2,151億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ282億円増加し3,686億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.7ポイント増加し、61.7%となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上等により、151億円の収入（前年同期比100億円の収入減）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産や無形固定資産の取得等により、128億円の支出（前年同期比25億円の支出増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、91億円の支出（前期同期比9億円の支出増）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末から19億円増加し1,174億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの2023年3月期の連結業績予想については、上期の好調な受注実績及び今後の見通し、為替の状況などを踏まえ、2022年8月9日に公表した連結業績予想を次の通り見直しました。なお、前提となる為替レートは、1USD=130円から1USD=135円に修正しています。

世界的なインフレの進行やCOVID-19感染再拡大、半導体等の需給ひっ迫などの事業への影響は大きく変動する可能性があり、現在も不透明な状況が継続しています。引き続き状況を注視しながら、今後、当社グループの業績に影響を及ぼす変動が生じた場合には、この連結業績予想を見直し、速やかに公表します。

なお、当社の売上高・営業利益は、日本の制御事業を中心に第2四半期及び第4四半期に集中する傾向があります。

2022年8月9日に発表した通期連結業績予想との差異は以下のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	億円	億円	億円	億円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,210	410	420	280	104.90
今回発表予想 (B)	4,275	425	435	290	108.64
増減額 (B) - (A)	65	15	15	10	-
増減率 (%)	1.5%	3.7%	3.6%	3.6%	-
(参考)前期実績 (2022年3月期)	3,899	306	357	212	79.73

(参考) セグメント別 通期連結業績予想

<受注高>

	前回発表予想 (8/9)	今回発表予想 (11/1)	増減
制御事業	4,265億円	4,510億円	245億円増
測定器事業	240億円	265億円	25億円増
新事業他	25億円	25億円	-
合計	4,530億円	4,800億円	270億円増

<売上高>

	前回発表予想 (8/9)	今回発表予想 (11/1)	増減
制御事業	3,950億円	4,010億円	60億円増
測定器事業	235億円	240億円	5億円増
新事業他	25億円	25億円	-
合計	4,210億円	4,275億円	65億円増

<営業利益>

	前回発表予想 (8/9)	今回発表予想 (11/1)	増減
制御事業	385億円	400億円	15億円増
測定器事業	45億円	45億円	-
新事業他	△20億円	△20億円	-
合計	410億円	425億円	15億円増

<業績予想のご利用にあたっての注意事項>

上記業績予想は、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたもので、実際の業績は予想と異なることがあります。

業績の変動要因となり得る主なものは以下のとおりです。

- ・米ドル、ユーロ、アジア通貨、中東通貨を中心とした為替相場の変動
- ・原油価格の急激な変動
- ・主要市場における政治経済情勢の急変
- ・中東地域、東アジア等における地政学的なリスク
- ・貿易規制などのビジネス環境の変化
- ・市場における製品需給の急激な変動
- ・日本の株式相場の変動
- ・自社特許の保護及び他社特許の利用の確保
- ・M&A、製品開発等における他社との提携関係
- ・地震、洪水、津波などの自然災害の発生

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	117,687	120,970
受取手形、売掛金及び契約資産	186,328	191,597
商品及び製品	16,662	19,110
仕掛品	4,584	5,918
原材料及び貯蔵品	21,758	23,916
その他	22,479	24,317
貸倒引当金	△5,304	△5,722
流動資産合計	364,195	380,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	46,089	46,747
その他	40,854	41,568
有形固定資産合計	86,943	88,316
無形固定資産		
ソフトウェア	13,997	14,950
のれん	12,378	14,035
その他	11,940	12,029
無形固定資産合計	38,316	41,015
投資その他の資産		
投資有価証券	53,241	60,829
その他	14,279	14,653
貸倒引当金	△1,154	△1,179
投資その他の資産合計	66,366	74,304
固定資産合計	191,626	203,636
資産合計	555,822	583,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,590	24,134
電子記録債務	10,119	8,888
短期借入金	1,576	20,686
コマーシャル・ペーパー	20,000	20,000
未払金	19,046	12,424
未払法人税等	5,926	5,567
契約負債	41,124	50,340
賞与引当金	17,127	14,909
工事損失引当金	6,499	7,334
その他	29,183	27,867
流動負債合計	177,192	192,153
固定負債		
長期借入金	24,095	4,098
退職給付に係る負債	4,687	5,617
その他	9,489	13,253
固定負債合計	38,272	22,969
負債合計	215,465	215,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,401	43,401
資本剰余金	54,392	54,392
利益剰余金	221,446	226,181
自己株式	△1,407	△1,408
株主資本合計	317,832	322,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,592	15,509
為替換算調整勘定	5,138	23,341
退職給付に係る調整累計額	△976	△1,100
その他の包括利益累計額合計	15,754	37,749
非支配株主持分	6,769	8,307
純資産合計	340,356	368,622
負債純資産合計	555,822	583,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	184,419	205,918
売上原価	103,038	116,079
売上総利益	81,381	89,838
販売費及び一般管理費	67,213	76,263
営業利益	14,167	13,575
営業外収益		
受取利息	221	438
受取配当金	435	615
持分法による投資利益	1,052	1,311
為替差益	125	1,019
その他	221	607
営業外収益合計	2,055	3,991
営業外費用		
支払利息	270	435
貸倒引当金繰入額	—	355
寄付金	149	136
その他	706	730
営業外費用合計	1,126	1,657
経常利益	15,096	15,908
特別利益		
固定資産売却益	11	3
投資有価証券売却益	—	834
特別利益合計	11	838
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	57	109
投資有価証券評価損	235	—
特別損失合計	292	109
税金等調整前四半期純利益	14,814	16,637
法人税、住民税及び事業税	3,586	4,205
法人税等調整額	998	1,705
法人税等合計	4,585	5,911
四半期純利益	10,229	10,725
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,116	1,453
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,112	9,272

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	10,229	10,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,821	3,922
為替換算調整勘定	916	18,456
退職給付に係る調整額	1	△73
持分法適用会社に対する持分相当額	54	132
その他の包括利益合計	2,793	22,437
四半期包括利益	13,022	33,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,798	31,267
非支配株主に係る四半期包括利益	1,223	1,895

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	14,814	16,637
減価償却費	8,570	8,553
のれん償却額	269	1,126
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△54	△231
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,404	△3,167
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	208	326
受取利息及び受取配当金	△656	△1,053
支払利息	270	435
持分法による投資損益 (△は益)	△1,052	△1,311
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△834
投資有価証券評価損益 (△は益)	235	—
売上債権の増減額 (△は増加)	19,699	13,094
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,171	△5,008
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,042	△5,657
未払金の増減額 (△は減少)	117	△2,280
未払費用の増減額 (△は減少)	△549	△1,089
預り金の増減額 (△は減少)	△770	265
その他	△2,373	△351
小計	28,110	19,451
利息及び配当金の受取額	1,383	1,937
利息の支払額	△252	△384
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,084	△5,883
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,157	15,122
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△450	△2,528
定期預金の払戻による収入	510	1,389
有形固定資産の取得による支出	△4,528	△4,727
有形固定資産の売却による収入	19	23
無形固定資産の取得による支出	△5,073	△5,793
投資有価証券の取得による支出	△213	△1,128
関係会社株式の取得による支出	△438	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	1,087
事業譲渡による収入	—	428
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,611
その他	△90	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,265	△12,830

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△663	△991
長期借入金の返済による支出	△80	—
リース債務の返済による支出	△1,321	△1,432
配当金の支払額	△4,534	△4,539
非支配株主への配当金の支払額	△1,602	△2,139
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,203	△9,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	390	8,761
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,079	1,948
現金及び現金同等物の期首残高	101,204	115,541
現金及び現金同等物の四半期末残高	108,283	117,490

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、当該会計基準の適用指針の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微です。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

		前第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	対前期比
制御	外部顧客への売上高	171,576	193,081	21,504
	営業利益	13,840	12,234	△1,605
測定器	外部顧客への売上高	10,100	11,059	958
	営業利益	1,650	1,596	△54
新事業他	外部顧客への売上高	2,741	1,777	△964
	営業利益	△1,323	△255	1,067
四半期連結 損益計算書 計上額	外部顧客への売上高	184,419	205,918	21,498
	営業利益	14,167	13,575	△592

(報告セグメントの名称の変更)

航空機用計器事業の譲渡に伴い、第1四半期連結累計期間より、従来「航機その他事業」としていた報告セグメントの名称を「新事業他」に変更しています。この変更によるセグメントの区分に変更はありません。

(事業譲渡による資産の著しい減少)

第1四半期連結累計期間において、「航機その他事業」を構成していた当社及び横河マニュファクチャリング株式会社の航空機用計器事業を譲渡しました。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「新事業他」のセグメント資産が1,483百万円減少しております。

(参考) 地域ごとの売上高

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		対前期比
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)
日本	54,455	29.5	55,519	27.0	1,063
海外	129,963	70.5	150,398	73.0	20,435
東南アジア・極東	30,169	16.4	32,612	15.8	2,442
中国	30,080	16.3	35,333	17.1	5,253
インド	6,353	3.5	8,596	4.2	2,243
欧州全域	16,472	8.9	18,308	8.9	1,835
ロシア	7,042	3.8	3,949	1.9	△3,092
北米	15,684	8.5	20,172	9.8	4,487
中東・アフリカ	18,584	10.1	25,046	12.2	6,462
中南米	5,575	3.0	6,377	3.1	802
連結	184,419	100.0	205,918	100.0	21,498

<参考資料>

2022年11月1日  
横河電機株式会社

2023年3月期 第2四半期連結決算情報

(単位：百万円)

	2021/9		2022/9		前年同期比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比
売上高	184,419	—	205,918	—	21,498	—
営業利益	14,167	7.7%	13,575	6.6%	△592	△1.1%
経常利益	15,096	8.2%	15,908	7.7%	812	△0.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,112	4.9%	9,272	4.5%	159	△0.4%
総資産	512,349		583,744		71,395	
純資産	323,028		368,622		45,593	
自己資本四半期純利益率	2.9%		2.7%		△0.2%	
1株当たり四半期純利益	34.14円		34.74円		0.6円	
設備投資	7,613		8,230		616	
減価償却費	8,839		9,679		840	
研究開発費	14,026		14,832		806	
期中平均為替レート(米ドル)	109.93円		135.30円		25.37円	

受注高

(単位：百万円)

	2021/9	2022/9	2023/3 予想
制御事業	179,679	246,591	451,000
測定器事業	11,595	15,891	26,500
新事業他	2,477	1,840	2,500
合計	193,753	264,322	480,000

売上高

(単位：百万円)

	2021/9	2022/9	2023/3 予想
制御事業	171,576	193,081	401,000
測定器事業	10,100	11,059	24,000
新事業他	2,741	1,777	2,500
合計	184,419	205,918	427,500

営業利益

(単位：百万円)

	2021/9	2022/9	2023/3 予想
制御事業	13,840	12,234	40,000
測定器事業	1,650	1,596	4,500
新事業他	△1,323	△255	△2,000
合計	14,167	13,575	42,500